

中田薫 （なかた ぬる） 法制史學者、法學博士。明治十年二月生れ、昭和四十二年十一月（二十一日歿）（八七—一九六）。明治二十二年東京帝國大學法科大學政治學科卒。歐洲留學のち同大教授。帝國學士院會員。昭和十一年文化勳章受章、二十六年文化功勞者。

著書に『法政史論集』全四卷（第一卷、大正十五年二月二十五日、第二卷、昭和十三年十一月二十日、第三卷、十八年六月二十日、第四卷、二十九年七月二十五日岩波書店）、宮崎道二郎著『宮崎先生法制史論集』（編、昭和四年六月二十日岩波書店）、『庄園の研究』（石井良助解説、昭和二十二年十月十日彰考書院『法制史叢書』）、『村及び入會の研究』（昭和二十四年六月二十日岩波書店）、『古代日韓交渉史斷片考』（昭和二十一年十月二十五日創文社）、『徳川時代の文學と見えたる私法』（昭和五十九年二月十六日岩波書店『岩波文庫』）等。

